

BMS・5月例会のご案内

—116th Bungeiken Metropolis Seminar—

■5月3日(土)9時30分～12時30分

■大東文化会館 404 研修室 (池袋駅より各停で 15 分、東武東

上線「東武練馬」駅下車2～4分。大東文化大学板橋キャンパスとお間違えなく)

■**テーマ 認識と表現の力を育てる説明文指導**

①「つぼみ」(光村図書出版1年)・「どうやってみをまもるのかな」(東京書籍1年)・「すずめのくらし」(教育出版1年)

報告:山中吾郎さん(東京文芸研 大東文化大)

②「ヤドカリとイソギンチャク」(武田正倫 東京書籍4年)

報告:佐藤幸雄さん(東京文芸研 元聖徳大附属小)

■**参加申込** (ハイブリッド方式) リアル参加は先着40名とさせていただきます。申し込みについては、リアル参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。 リアル参加500円・オンライン参加800円(会場費・資料代・システム利用料)
参加申し込みは <https://bms202505-bungei-tokyo.peatix.com/> から

【文芸研東京学習会(BMS)連絡先】上西信夫 ☐→nobu.uenishi@outlook.jp

次頁 アホウドリ
信天翁通信 ↓

東京文芸研學習会(BMS5月例会)のご案内

—116th Bungeiken Metropolis Seminar—



■ 調布市神代植物公園の躑躅（ツツジ）

桜の開花から花冷えの日が続く東京でしたが、やっと暖かくなった4月6日（日）、BMS 4月例会を開きました。関東地方は久々に桜の花びらが舞う入学式を迎えることができそうです。

今回テーマは「**入門期のかな文字指導**」一報告①「にっぽんご」（むぎ書房）シリーズを基に体系的な**かな文字指導**の実践を積み重ねている明星学園小学校の**根岸あずさ**さんの報告。明星学園小学校では、一音一字の音節文字としての原則一音節と文字との結びつきが分からなければ、文字を知ったことにはならないと1年の1学期いっぱいかけてかな文字指導（清音）に時間をかけます。入学前のほとんどの子どもたちが平仮名を読めるからといって教科書通りの進度でかな文字指導をやっていると、行き詰って破綻をきたすのが促音・拗音・長音・拗長音の指導の段階です。文章→文→単語→音節の順序を意識し、音節を書き表したもののがかな文字であること。言語を音声学の体系にしたがって順序正しく配列し、かな文字の獲得が子どもの目を外界に広く向けさせ、語彙を増やし、そのことによって子どもの思考力の発達を促すことをねらいます。また、明星学園小「総合」の学習と同様、ことばと事物との対応を「見る・触る・味わう・身体表現する」など身体感覚を総動員したなかで、単語のイメージを確かなものにして読みに繋げることを何よりも重視することがよく分か

る報告でした。根岸報告の中でも紹介された楽しい詩は、報告②の上西信夫による「日本語の特質を生かした楽しい詩の授業」に引き継がれました。単調になりがちなかな文字指導を豊かなものにする一母語としての言語の教育と言語活動の教育（文芸教育）を統一的に構想する「ことばあそびうた」を中心とした詩群の紹介・報告でした。

次回5月例会は、「認識と表現の力を育てる説明文指導」の報告を山中吾郎さん（東京文芸研 大東文化大）と佐藤幸雄さん（同 元聖徳大附属小）にお願いしました。

次回もハイブリッド方式で行いますが、リアル参加は先着40名とさせていただきます。
申し込みについては、リアル参加の方もオンライン参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。



■ 神代植物公園には牡丹（ボタン／右）園や芍薬（シャクヤク／左）園もあり見頃を迎える。

記

1. 期 日 2025年5月3日（土）9時30分～12時30分
ハイブリッド方式

2. 会 場 大東文化会館 404 研修室
(池袋駅より各停で15分、東武東上線「東武練馬」駅下車2～4分。大東文化大学板橋キャンパスとお間違えなく)

3. 内 容 テーマ：認識と表現の力を育てる説明文指導
報告①：山中吾郎さん（東京文芸研 大東文化大）
報告②：佐藤幸雄さん（東京文芸研 元聖徳大附属小）

4. 主催・参加費・申し込み 東京文芸研／リアル参加 500円・オンライン参加 800円（会場費・資料代・システム利用料）

例会後、参加申し込みは <https://bms202505-bungei-tokyo.peatix.com/> から
(一週間前には申し込みができるように準備をします。問い合わせ 事務局・西さん)
以上

例会で扱う教材以外の個別の相談にも応じています。事前に連絡をください。
カンとセンスとブームの国語の授業からの脱却、教科書会社の指導書・赤刷り・ワークシートに頼らない授業構想力の獲得—視点・形象の相関をふまえた切実な共体験の形成、文芸体験の思想化・典型化の授業づくりをめざします。

23年夏の山口大会、24年の第58回徳島大会、「国語の教室」、各地の講座で初めて文芸研の理論と実践に接し興味をもたれた方、国語の授業づくりに困っている方、深い学びをと願っている方、教職をめざしている方、青年学校受講生の方、各地のサークル例会が開催困難なサークル会員の方々……の参加をお待ちしています。

インフォメーション

▼文芸研青年学校 18期9回 4月26日(土) 9時~16時 オンライン 講師：
上西信夫 詳細は文芸研HPをご覧ください。

▼八王子文芸研基礎講座 5月30日(金) 18時~20時 八王子市立高嶺小学校(ハイブリッド) 講師：上西信夫 詳細は文芸研HPをご覧ください。

▼文芸研実践研究会 5月10日9時30分~11日17時 **神戸サンセンタープラザ西館6F**(三宮駅前／今までの中央区文化センターではありません) 千葉大会全レポート検討②

▼今年度のBMS例会予定(原則第1日曜日) 9時30分~12時30分 大東文化会館(東武練馬駅)／9時~12時 エデュカス東京(市ヶ谷駅/麹町駅)

- ・4月6日(日) 大東文化会館
- ・5月3日(土) 大東文化会館
- ・6月1日(日) 大東文化会館
- ・7月6日(日) エデュカス東京(大東文化会館は7月~10月改修工事のため使用できません)

◎8月2~3日千葉大会 流山市/柏市

- ・9月7日(日) エデュカス東京(予定)
- ・10月5日(日) エデュカス東京(予定)
- ・11月2日(日) 大東文化会館(予定)
- ・12月7日(日) 大東文化会館(予定)
- ・1月11日(日) 大東文化会館(予定)
- ・2月1日(日) エデュカス東京(予定)(大学入試のため使用できません)
- ・3月1日(日) 大東文化会館(予定)

※会場は予定です。直前のHP掲載のBMS例会案内で確かめてください。

▽「文芸教育」(西郷竹彦創刊・文芸研編・新読書社刊) **最新135号 好評発売中!** 特集「私の学級びらき—この教材で、はじめの一歩」／134号 特集「認識と表現の力を

育てる説明文の授業」／133号 特集「真に『深い学び』をめざすファンタジー教材の授業」 好評発売中！ 各号1700円+税 バックナンバーあります。年間購読をお願いします。例会でも用意します。

▽光村版・新教科書指導ハンドブック（学年別）発売中／新読書社より各学年1700円+税 セット割引有／この学年でどんな〈ものの見方・考え方〉を育てるかの観点で編集

▽文芸研授業シリーズ好評刊行中！ 第1弾「たぬきの糸車」（新読書社）・第2弾「一つの花」・第3弾「おおきなかぶ」・第4弾「わらぐつの中の神様」・第5弾新刊「サーカスのライオン」／教材分析と授業構想・授業記録がこの一冊に。板書や発問が参考にできて、使いやすい・わかりやすいと好評。入門書として最適です。各1000円+税

「朝日歌壇・俳壇」より 子ども・学校・ことば・世相・戦争を詠む

雪だるまと難しいねって語り合う「無理のない範囲」という言葉（富山／松田梨子）

朝バスでとなりのクラスの男子からチョコ味のいちご大福もらう（奈良／山添葵）2.14 バレンタインデーに

一限目うちの組だけ雪合戦（奈良／小山寿美代）いい担任だねえ

こんもりと雪に埋もれた駐車場目星をつけて掘り出す愛車（富山／松田梨子）

やじろべえ左三寒みぎ四温（成田／かとうゆみ）

大雪で遅れる電車いつもとは違う顔ぶれ職場へ向かう（富山／松田わこ）

戦渦の「渦」、戦禍の「禍」との違いより知るべきことはもっとあるはず（佐野晃太／高校生の短歌大会入選作より。以下二作も同じ）

生物基礎ふたりで読んで、このまで、いさせてくださいアラスカの森（角田千智）

烏龍茶溢れし生まれた大陸を指で切ってもすぐ繋がるの（上村爽太）

馬場さんが初めて採ってくれた歌思ってバニラアイスをすぐう（奈良／山添葵）ゆっくりとバニラアイスすぐたらしろいことりのはねになったよ 葵さん歌壇初出は馬場あき子選だった

私っていい子じゃないわチューリップ（成田／かとうゆみ）

雪の朝子らのメールはそれに転倒、骨折厳に戒む（新潟／工藤紀子）

実験だけふも徹夜と苦笑する院生の「も」が跳ねるキャンパス（西条／村上敏之）

子どもの頃怪獣になり霜柱踏んだこと足は覚えておりぬ（岡山県／小林和恵）

ごんぎつねに母語を書き込む青年はミャンマー逃れ来し夜学生（寝屋川／今西富幸）

秘め事のようにティッシュに包みいる乳歯をそっと見せてくれる孫（観音寺／篠原俊則）

病院の中の学校の放課後は手品待つ子の病室に行く（岡崎／三上正）

四季ひとつ移ろうたびに子どもに二度と着られぬ服増えてゆく（市川／黒木郁）

春近き宵闇に見ゆ明るさを増し行く夜間中学の窓（観音寺／篠原俊則）

はしゃぐ孫叱ってくれる人のいてバスの中だけ昭和に戻る（秦野／三宅節子）

片言の増えゆくほどに木々芽吹く（長野／縣展子）

バースディ女孫に贈る詩を求め半世紀ぶりに書店立ち読み（一宮／今出公志）
しつけ糸まだ残るブリーツ 制服を試着する子の豊かな未来（観音寺／篠原俊則）
灯りつく家への帰宅は嬉しいと一人暮らしの子はポツリ言う（東京都／渡辺美香）
病室で九十二歳の母が待つ十二都県越えゆくわれを（西条／村上敏之）
「おかあさん」と教えたはずがいつの間に「ママ」と呼ばれてそれもしあわせ（大館／柴田陽子）
山火事の迫りくるなか父親は入学の子のランドセル持つ（釜石／若井芳）
古き家の宴のための椀の数行き先定まる子供食堂（矢板／山田久美子）
メニューを睨み紙にコツコツ字を埋めるファミレスにいても受験生なり（東京都／井上智景）
窓際の席より順に伝わりて「虹！」の手話が教室（へや）に広がる（東京都／友部美奈子）
瓦礫踏み何処へゆくのかガザの子の後ろ姿ばかり映る（郡山／遠藤雍子ようこ）
図書館に陽がさして来てしづかなり受験シーズン終わりし日曜（橋本／秋月晶江）
終活の手始めとして茶華道の許状を捨つる燃えるゴミの日（橋本／秋月晶江）
カナピラに擦れてザイルが立てる音岸壁を蹴るたび転調す（京都／中川大一）
食い逃げのゴーンは異国でほくそ笑み見る影もなき〈日産〉哀れ（近江ハ幡／寺下吉則）
森友の首相答弁春きざす読み上げられし弔意の手紙（横浜／一石浩司）
今もまだ被災地支援の情報が四分の一占む能登版紙面（羽咋／北野みや子）
幾たびも首相変われど拉致の子ら帰られぬまま父母（ちちはは）は逝く（神戸／塩谷涼子）
母よ母よ叱ってくれぬか裁ち鋏用いて歌壇切り抜く我を（観音寺／篠原俊則）
そのうちに地球をアメリ力星と呼べと言いだしそうな彼の大統領（三重県／藤井恵子）
平和さえ取引（ティール）に使う大国に媚びる卑屈な小国もあり（朝霞／岩部博道）
放出とふ言葉馴染まぬ百姓われ放り出さるる米を愛（かな）しむ（山形県／南岡二郎）
内容は分かったされど息遣い伝わらなくてAの声（さいたま／堀内雅子）
トランプが署名するたび世界中がばらばらになりさうな気がする（岩国／木村桂子）
金魚田に網ひく人ら春うらら漁業でもなし農業でもなし（大和郡山／四方護）
ヒマラヤにアンモナイトの石を割る太古の海の声が聞こえる（白岡／望月允丈）
寒中の冷え極まりし奥能登の満月の匂いするような夜（石川県／瀧上裕幸）
早五年任命拒否を契機とし学の自由を巡る戦い（一関／奥山与惣美）
戦友が死ねば小指を缶で焼き郷里（さと）へ送るも父の任務と（亀岡／俣野右内）
被爆者の八十年や春を待つ（福島県伊達／佐藤茂）
虚子立子偲ぶ椿の咲にけり（泉大津／多田羅初美）三月三日星野立子忌、虚子立子は親子、鎌倉・福寿寺に
眠る。ゆらぎ見ゆ百の椿が三百に（虚子）虚子忌を椿寿忌ともいう
鳴きやまぬ塙の鴉や多喜二の忌（北九州／松本ゆきこ）多喜二忌2月20日
人類の一歩が崩す霜柱（横浜／秋元和子）
探梅行心ときめく曲がり角（茅ヶ崎／藤田修）「探梅」は冬の季語
ゼレンスキー泣くな故国の山笑う（松山／川村俊作）
戦争をしている国へ鳥帰る（新庄／三浦大三）

雪だるま並べて地蔵の代はりとす（酒田／野澤勝）
河口へと近づく川は海へ呑まれんとして至福の汽水（福島／美原凍子）
はや雪は二階を埋めんと降り積もる太郎も次郎も眠れぬほどに（光／永井すずえ）三好達治「雪」
〈太朗を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。次郎を…〉をふまえて
四国には新幹線は要らないと春の遍路を見るたび想う（観音寺／篠原俊則）
近づくと大きく口開け威嚇するアメリカ生まれのアカミミガメは（神戸／前田素代）諷刺の効いた
一首
最終の処分施設がないままに中間貯蔵施設と呼ばれて（いわき／斎藤久子）
間に合ってよかったです短歌詠みはじめ馬場あき子さんの選のあるうち（東京都／椿泰文）
「空蝉」の解説語る能舞台多面体にて歌人とも呼ばれ（福生／斎藤千秋）
馬場さんに選ばれるのが夢だった死ぬまで歌は詠むだろうけど（大田／安立聖）馬場あき子さん選
者退任を惜しむ歌多数。歌人・能作家+舞手・文芸評論家・教育者・民俗学に造形深くまさに〈多面体〉
山積みの本と議論と一升瓶思いだす夜に茶碗酒（石川県／瀧上裕幸）
電柱に腰かけられるほど降ると豪雪語る肘折の旧友（とも）（仙台／沼沢修）酸ヶ湯とともに肘折は豪
雪地帯
瓦礫から更地となりて悲しみは更にと能登の人は語れり（倉吉／砂原誠子）
軍事費が五割を占める戦前の民の暮らしはみんな貧しい（三郷／木村義熙）
ストビューに更地となりし生家跡砂利と空とのふる里侘（わび）し（白井／本山正明）
戦禍にも書店増えゆくウクライナ心の支え求めるように（中津／瀬口美子）
如月の余寒と予感どちらにも春待つ期待と焦燥がある（東京都／小林容子）
当局の監視下なれど献花する行列絶えずナワリヌイ氏の（五所川原／戸沢大二郎）反ブーチンの政
治家、2024年2月16日刑務所で死去。47歳
海苔粗朶（のりそだ）の海へ天使の梯子（はしご）かな（淡路／稻谷有記）
春の朝黄身の流れるハムエッグ（東松山／鈴木圭）
てのひらにひよこのやうな春がきた（日立／加藤宙）
朧夜（おぼろよ）の言葉とならぬものばかり（境港／大谷和三）
春愁や又も現る独裁者（福島県境町／望月清彦）
花の種蒔くや反戦歌のごとく（川口／青柳悠）
いち枚の葉書取り上げ馬場さんは「ダメなのよねえ」もしやわがこと（柏／菅谷修）今週も3月い
っぱいで退任する馬場さんを詠む歌多数
担任が代わるみたいな心細さ馬場あき子の選者退任（観音寺／篠原俊則）
式の日は羽織袴の馬場先生文京五中は楽しかりけり（東京都／池辺史生）教職員組合の婦人部長とし
て60年安保を闘った
「なのです」と語尾美しき語り口 選は今年で終りなのです（松戸／小柴亘）
「歌詠むは心が外に出たい時」と教えてくれしは馬場あき子さん（中津／瀬口美子）
馬場先生お疲れさまです選ばれし拙歌も誇り半世紀近く（旭川／齊藤洋子）

亡き母と同じ年かと馬場さんの退任の記事謹みて読む（長崎県／稻垣妙子）
思いきや馬場あき子さんいつの日か「朝日」退かるる日のあろうとは（水戸／中原千絵子）
僕倅と言うべきだろう二十年前の入選馬場あき子選（鳥取県／山本憲二郎）
朝日歌壇47年馬場選の2万余首の内わが3首あり（八王子／額田浩文）
馬場あき子花の盛りに退任す（八王子／額田浩文）
波間からはっきり聞こえた友の声あの日忘れじ3・11（宮城県／壇原渉）
処理できぬ多量のデブリある中で原発回帰政府は決める（亀岡／侯野右内）
遺体収容任務で味方の兵探すウクライナ女性志願兵（佐久／五十嵐芳孝）
寒厳し花鉢の土にモミかぶせ辛抱だよと共に春待つ（飯田／草田礼子）
忘れまじ十五年目の福島は花は咲けども何も変わらず（須賀川／近内志津子）
アメリカは世界の警察だったのに今やすっかりベニスの商人（松阪／笛木敏子）
書棚には高橋和巳の本ありて一途に読んだ大切な本（別府／藤内浩）「悲の器」「憂鬱なる党派」「邪宗門」「日本の悪靈」「孤立無援の思想」などを読んだ我が同世代
静けさと星の明かりを呼吸して夜の檸檬は少しふくらむ（奈良／山添聖子）
火の迫る高台に立つ住宅を一瞬映す望遠カメラ（つくば／山瀬佳代子）
大雪に太郎次郎の眠られず（和歌山県紀美野町／神野一馬）
大国に食い散らさるる寒さかな（福島県伊達／佐藤茂）
大国が商国となる春哀し（府中／志村耕一）商国と小国の掛詞で諷刺しつつ憂いる
あめりかのかくも貧しき荷風の忌（日立／川越文鳥）
選評に歓喜飴山實（あめやまみのる）の忌（栃木県壬生町／あらゐひとし）飴山實忌3月16日、元朝日俳壇選者
クロッカスの群れ咲く庭を黒猫が花粉飛ばしつつ歩いて行けり（ドイツ／ハルツォーク洋子）馬場あき子さん最後の一席選 春の陽気のおおらかさが良いと評
お前らも思へば遠くへ来たもんだノルウェーの鯖モーリタニアの蛸（松山／宇和上正）
近頃のハンサムらしい細面前髪口紅色白にして（茨木／瀬川幸子）口紅も入るのか…
ああ言えばこう言う妻と四十年呆れはすれど飽きることなし（新潟／小幡章）
奥能登の雪降る珠洲の銭湯に苦難に生きる人の笑顔みつ（鹿嶋／大熊佳世子）
まず薰り色皺歯応えそして味いぶりがっこに五感悦ぶ（相模原／石井裕乃）「いぶりがっこ」を空欄にしてクイズにしたい
忘るまじ「言葉を砥石にかけること」馬場先生の歌への思い（太田／川野公子）
ヨーカドー去って蛇沼牛久沼文化（おなばけ）神社残る我が町（龍ヶ崎／岩井廣安）
現実は油が無いのだガザを行く驢馬（ろば）の車に詩情を追うな（大和郡山／四方護）
戦争が終はつたら着るといふ背広ゼレンスキーに早く着せたい（岩国／木村桂子）
肉塊の如き雲ゆく春は来ぬ（さぬき／鈴木幸江）
アメリカのゆすりたかりや冴（さえ）返る（青森／小山内豊彦）「冴返る」初春（2月頃）の余寒。季語
けちゃっぷではるとかきけりおむらいす（横浜／座間敏正）



● 神代植物公園の藤棚 クマ（ム）バチが羽音を立てて蜜集めに忙しい

アホウドリ 信天翁の身辺雑感

🐸 3月8日（日）夜、杉並公会堂で行われた高橋純子さん（朝日新聞論説委員）の朝日新聞スペシャル講演会にかけた。（抽選に当たった！「スペシャル」や「限定」に弱い）国際女性デーにちなんでミモザ模様の服装で登壇。演題は「ブツブツ記者の小声で言いたい放題」。安倍政権の頃から舌鋒鋭く切り込む女史の文体のファンである。霪まじりの悪天候の中 1000 名収容の会場は満席であった。ジェンダーギャップ指数下位の日本で、とりわけ低かった九州・鹿児島（薩摩隼人の西郷先生がそうでした。今はそんなことはないと思いますが）が記者最初の赴任地で悔しい思いをしたこと、オールドメディアと批判される中での新聞の役割から始まり、小選挙区制のからくり、立花孝志現象、トランプのアメリカ…とピシリと/or>的を射た「言いたい放題」。額いたり拍手したりのあっという間の 2 時間であった。でも、高橋さんは記者、話も良かったが、文章の方が数段良い。

🐸 3月末、和歌山に墓参、ついでに大和路を散策。（私は奈良派）天気が良ければ必ず歩くのは日本最古の道と言われる山の辺の道。今回は南コースを逆に天理市石上（いそのかみ）神宮から桜井市三輪明神・大神神社まで 17キロ、5時間のコース。集落や廃寺跡や古墳群の傍や光る藁の屋根、大和三山、菜の花畠を眺めながら健脚のカミさんの後をゆったり歩く。三輪ではもちろん素麺と柿の葉寿司をいただく。奈良は日本酒の発祥地で「春鹿」「三諸杉」ほか旨い酒が数多くある。（三輪山は酒の神様のご神体でもある）ホテル近くに奈良の地酒全部を呑ませる店があり、お薦めの新酒辛口を数種類いただく。どれも美味。早朝の奈良公園界隈を歩くのもよい。観光客のいない草を食む鹿だけの飛火野はいい。興福寺から浮見堂、

国立博物館、春日大社、二月堂、東大寺辺りを散策する。「理論研」があった頃、西郷先生に引率されて日本肖像彫刻の最高傑作と言われる興福寺北円堂の無着・世親立像を特別に拝観させていただいたことを思い出す。帰路、久しぶりに大和西大寺・秋篠寺の伎芸天（芸術・芸能の女神）の尊顔を拝見する。奈良では奈良漬け・陀羅尼錠（我が家家の常備菓）・三諸杉の切辛、京都駅で阿闍梨餅とちりめん山椒、551（蓬萊）の豚饅を求める。東京は早や桜満開になった。これから一週間、どこの桜を愛でに出かけようか心躍る日が続く。



■ 神代植物公園の石楠花（シャクナゲ）



■ 井の頭公園のヤマブキ



■ 同 シャガ

2025 年文芸研第 59 回大会は千葉大会

8月2日(土) 全体会 スターツおおたかの森ホール(流山市)

つくばエクスプレス・東武アーバンパークライン「おおたかの森」駅歩2分

交流会会場: ホテルルミエールグランテ(全体会会場隣り)

8月3日(日) 分科会 さわやかちば県民プラザ(柏市)

つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅歩20分・東武バス約10分/JR

常磐線・東武線柏駅西口から東武バス「県民プラザ」下車 約20分

参加+実行委員としてお力添いをお願いします。Help us!



⑧ チーバくん⑧ チーバくんは千葉県のマスコットキャラクター。くまモン、ひこにゃんほど有名ではないけれど…。

⑨ 千葉大会まで3か月となりました。5月10~11日の実践研(神戸市)では、大会レポートの一字一句に責任を持つという立場で2回目の全レポートの検討会が行われます。一気に大会に向けての機運を盛り上げたいところです。そこでぜひ皆さんのお力を貸してください。

⑩ ⑪ ⑫ Take part 何よりうれしいのは「参加するよ」の確約です。参加確約+「職場や知人に拡散するよ」だったらもっと嬉しい。

⑬ ⑭ ⑮ Assist 「受付・分科会係・パソコン操作・書籍販売…何かできることがあれば手伝うよ」だったら天にも昇る心地。そのような奇特な方は実行委員としてカウントさせていただきます。上西までご一報ください。

⑯ 次回チーバくん⑨は会場周辺情報

⑰ 分科会会場が「さわやかちば県民プラザ」に決定しました。全体会会場(スターツおおたかの森ホール)・交流会会場(ホテルルミエールグランデ流山おおたかの森)に近いホテ

ルは東横インおおたかの森ホテルがリーズナブルです。高くても大丈夫な方は交流会会場のホテルルミエールグランデ流山おおたかの森は高評価です。柏駅周辺にも東横インが2つ（西口・東口）、同クラスのホテルが2、3あります。羽田空港を利用する方は直通のリムジンバスが柏駅西口のザ・クレストホテル（高評価）前から出ています。柏の葉キャンパス駅付近のホテルも全体会・分科会会場に近くて便利です。

BMS 会場案内



板橋キャンパスと間違えないでね



大東文化会館へのアクセス：池袋駅より東武東上線各停で7駅（約15分）、東武練馬駅（大東文化大学前）下車。どの出口からも徒歩2～4分／学習会会場はK404研修室（40人収容）、9時から13時まで借りています。（山中吾郎さんに尽力いただき、4月6日（日）、5月3日（土）、6月1日（日）まで予約済み。今から予定に入れてください。開始・終了時刻が以前より30分遅くなりました。）エデュカス東京（麹町）より大東文化会館までの所要時間がかかる方もいると思いますが、学習会充実のため引き続きリアル参加にご協力ください。



文芸研の実践理論研究誌

「文芸教育」

西郷竹彦創刊 文芸研編 新読書社刊

135号は3月刊行。特集「私の『学級びらき』—この教材ではじめの一歩」。

子どもも教師も「国語っておもしろい!」と思える授業びらきのアイディアがいっぱいです／バックナンバーも用意しています。「文芸教育」誌は3月・7月・11月の年3回発行。定期購読をお願いします。1700円+税



神代植物公園の薔薇園

 文芸研東京学習会(BMS)連絡先 上西信夫

 → nobu.uenishi@outlook.jp

 SMS→ 080-3253-4742

学習会で扱う教材希望がありましたら上西までメールでご連絡ください。

第 59 回 文芸研 大会・千葉大会

大会テーマ:《ものの見方・考え方》を育てる国語教育 / 主催:文芸教育研究協議会

期日 2025 年 8 月 2(土)・3(日) 日

会場 全体会:スタートおおたかの森ホール(流山市)

つくばエクスプレス・東武アーバンパークライン「おおたかの森」駅北口 2 分

分科会:さわやかちば県民プラザ(柏市)

つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅／常磐線・東武線「柏」駅より東武バス

内容 1 日目・全体会(9 時 00 分～16 時 30 分)

基調提案／公開授業・シンポジウム／馬頭琴演奏 **美炎**さん／実践報告／

記念講演 **荻上チキ**さん (交流会 18 時～20 時・ホテルルミエールグランテ)



1981 年生まれ 評論家・編集者
メディア論を中心に政治経済、社会問題、文化現象まで幅広く論じる。主な出演番組 TV「サンデーモーニング」「ニュース 23 クロス」ラジオ「荻上チキ session」等 著書「ウェブ炎上」他多数

2 日目・分科会(1 午前/2 午後の 2 部制 9 時 15 分～16 時 30 分)

【1. 午前 領域別分科会】

- ①詩の授業 ②説明文の授業 ③作文 ④絵本 ⑤文芸学
⑥ものの見方・考え方 ⑦特別支援学級の国語の授業

【2. 午後 学年別分科会】

- ①小1「スイミー」 ②小2「かさごじぞう」 ③小3「モチモチの木」
④小4「ごんぎつね」 ⑤小5「大造じいさんとガン」 ⑥小6「海のいのち」
⑦中・高「夏の葬列」

■参加費 4000 円／参加申込 5 月中旬より「文芸研」HP から

第 59 回 文芸研 千葉大会実行委員会連絡先

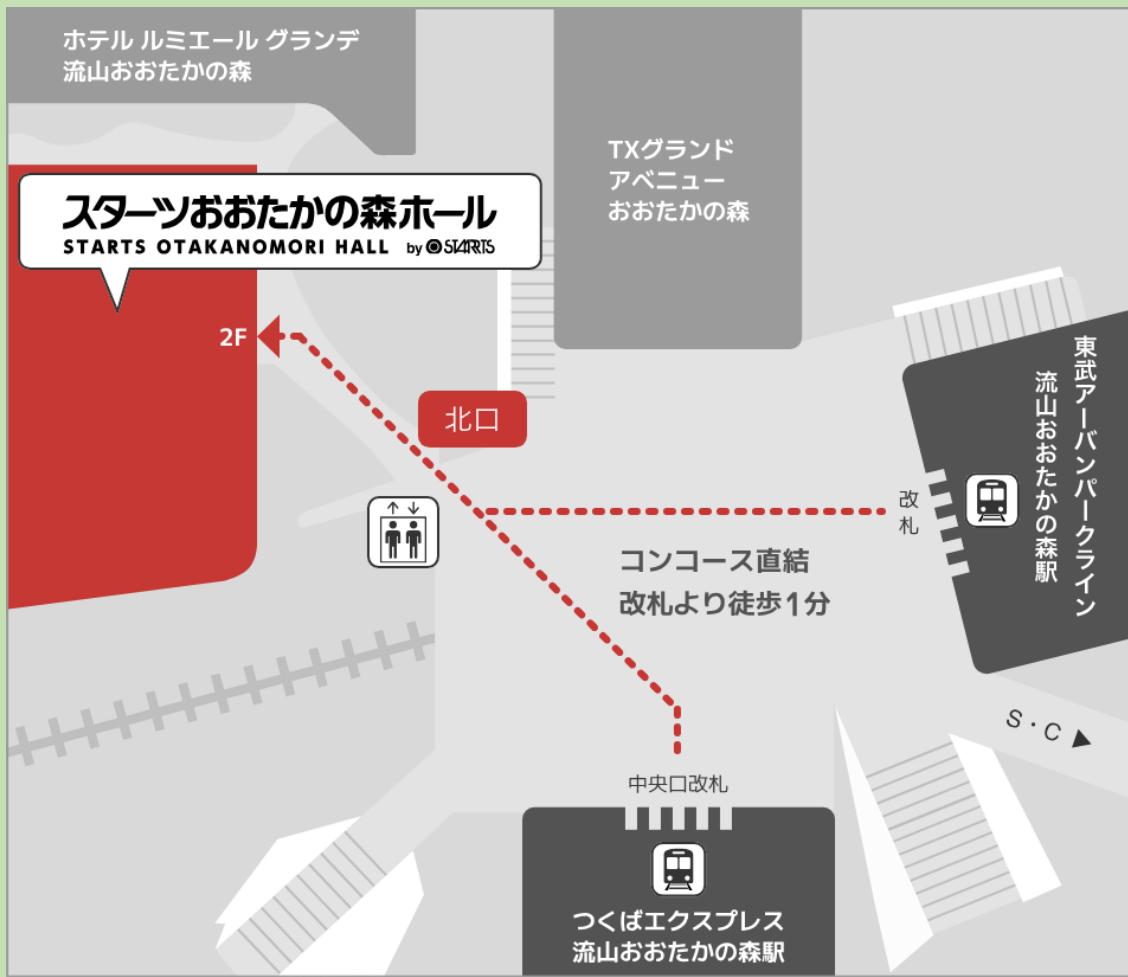
秋山亮介(080-3210-6358/chakky511@gmail.com)

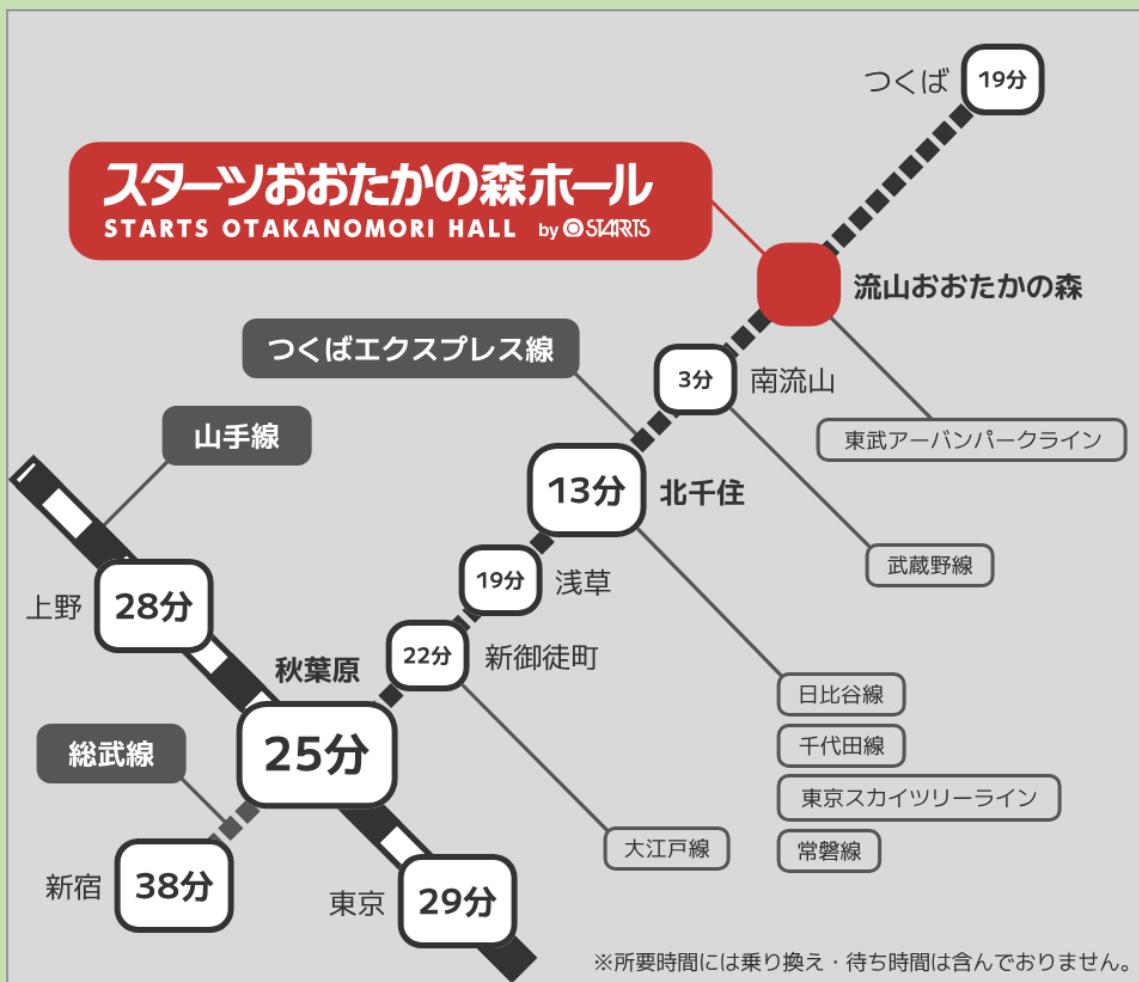
1 次案内

全体会場（交流会会場・ルミエールグランテは隣のホテル）



↑スタートスおおたかの森ホール つくばエクスプレス・東武線「おおたかの森」駅北口2分





JR 常磐線・東武アーバンパークライン「柏」駅から「おおたかの森」駅は 5 分

分科会会場 (さわやかしば県民プラザ)



さわやかちば県民プラザへの交通案内

徒歩で来所の方

徒歩でお越しの方は、柏の葉公園側通用門もご利用になれます。(休所日を除く)

開門時間 午前8時から午後6時

最寄駅からのアクセス

バスの時刻表はこちら⇒ [各駅から.pdf](#) [さわやかちば県民プラザから.pdf](#)

| | バス会社 | 乗り場・ゆき | 最寄バス停 (乗車時間) | バス停から 県民プラザ 迄 |
|--|------|---|--------------------------|---------------------|
| JR常磐線 東武アーバン パークライン 柏駅 | 東武バス | 西口バスターミナル 2 番乗り場 「県民プラザ」ゆき、または 「県民プラザ経由 国立がん 研究センター」ゆき | 県民プラ ザ (約 20 分) | 徒歩 1 分 写真付き案内 |
| 東武アーバン パークライン 江戸川台駅 | 東武バス | 東口バスターミナル 「国立がん研究センター経由 柏の葉キャンパス駅西口」ゆき | 駒木台北 (約 10 分) | 徒歩 5 分 写真付き案内 |
| 東武アーバン パークライン 江戸川台駅 | 東武バス | 東口バスターミナル 「みどり台経由柏の葉キャン パス駅西口」ゆき | 東大西門 前 (約 15 分) | 徒歩 5 分 |
| つくばエクス プレス 柏の葉キャン パス駅 | 東武バス | 西口バスターミナル 1 番乗り場 「柏の葉キャンパス駅西口 (柏の葉公園循環)」ゆき | 県民プラ ザ (約 10 分) | 徒歩 1 分 |
| つくばエクス プレス 柏の葉キャン パス駅 | 東武バス | 西口バスターミナル 「江戸川台駅東口」ゆき | 東大西 (約 10 分) | 徒歩 5 分 写真付き案内 |

| | | | | |
|--|------------------|---|------------|--------|
| 東武アーバン パークライン つくばエクス プレス 流山おおたか の森駅 | 流山 グリー ンバス | 東口バスタークルーズ 美田・駒木台ルート (時計回りで 11 分 反時計 回りで 16 分) | 県民プラ ザ前 | 徒歩 2 分 |
|--|------------------|---|------------|--------|

車で来所の方

国道 16 号「十余二工業団地入口交差点」から約 5 分(約 2.5km) 国道 16 号「呼塚」交差点から約 20 分(約 7km)

駐車場 283 台(うちバス 4 台) ※バスでお越しの団体は、事前にバスレーンの予約をお願い致します。

※駐車場は 1 時間まで無料です。以降、1 時間ごとに普通車・準中型車 100 円、中型車・大型車は 300 円ずつ加算されます。

※駐車料金は所内での清算となります。駐車場出口では清算できません。お帰りの際は、所内精算機で精算ください。(駐車券は所内へ忘れずにお持ちください。)

周辺マップはこちら

交通案内についてのお問い合わせは、「さわやかちば県民プラザ 総合受付」

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉 4-3-1 TEL : 04-7140-8600



カシワの葉



カシワの花

カレンダー 山本純子

四月のカレンダーの
おりの方に
五月のはじめのころの日付が
並んでいる
うすいインクで
おじやましますって感じで

そのうすい日付が
ささやいている

山の緑がこくなるよ
川がきらつとまぶしくなるよ

自転車に乗って
出かけようか

長そでをまくり上げて

今年の太陽で
はだを焼いたら
そこから

今年の自分になっていく

(山本純子詩集「カレンダー」学校のはる
なつ・あき・ふゆ」) 仮説社
2023)